

不易流行

駿河  
URUSHI  
漆器®





## 駿河漆器

静岡の漆器「駿河漆器」の歴史は古く、今川時代に始まります。その後、三代将軍・徳川家光が浅間神社の造営にあたって諸国から招いた漆工たちが、竣工後も静岡の地に永住しその技法を伝えたことで、駿河漆器の基礎が築かれたと伝えられています。以後静岡の地場産業として発展してきました。

## 変塗と暮らし

駿河漆器の大きな特色は「変塗（かわりぬり）」です。これは幅広い漆器の需要に伴い開発されたもので、常に新しい塗りを創造し続ける職人たちの努力と研究によって、独特のデザイン・技法が生み出されてきました。

これからの暮らしを彩っていくその漆を、どうぞお楽しみください。

## Suruga Lacquer Work

Suruga Lacquer Work, the lacquer ware of Shizuoka, has a long history starting in the era of Imagawa.

At a later date, Iemitsu TOKUGAWA, the third shogun of the Tokugawa dynasty, gathered lacquer craftsmen from all over Japan for the construction of the Sengen-Jinja Shrine. Tradition says that these craftsmen settled down in Shizuoka even after completion of the shrine, and passed down the techniques, which formed the fundamentals of Suruga Lacquer Work. Since then, it has developed as a local industry in Shizuoka.

## Fancy Varnish and Life

The remarkable feature of the Suruga Lacquer Work is “fancy varnish, Kawari-Nuri”. It has been developed to meet the various demands of lacquer ware. The efforts and earnest study by craftsmen, who always try to create new coating methods, has produced exclusive designs and techniques.

Enjoy our elegant lacquer ware which is sure to enrich your life.



## 静岡漆器工業協同組合会員



浅井 宏純  
静岡市葵区住吉町一丁目 11 TEL : 054-255-4838

新井 吉雄 [あらい漆工房]  
静岡市葵区幸町 10-6 TEL : 054-253-8692

安藤 嘉津夫 [安藤漆工房]  
静岡市葵区田町七丁目 71 TEL : 054-253-8707

石川 秀次郎 [めぐみ工房・石川]  
静岡市葵区田町三丁目 63-5 TEL : 054-254-1866

佐藤 勝治  
静岡市葵区上菅高町 3-5 TEL : 054-252-8545

塩澤 佳英  
静岡県牧之原市勝役 2353-39 TEL : 080-3683-0831

田中 勉  
静岡市葵区田町西丁目 83 TEL : 054-253-6635

鳥羽 俊行  
静岡市駿河区大坪町 1-3 TEL : 054-285-1177

藤中 知幸  
静岡市駿河区曲金六丁目 8-32-202 TEL : 090-9339-8767

細田 豊  
静岡市葵区田町四丁目 39 TEL : 054-253-6044

村越 英照  
静岡市葵区田町一丁目 109-9 TEL : 054-255-0581

八木 信明 [八木漆工所]  
静岡市葵区上菅高町 5-13 TEL : 054-252-7609

八木 陸夫  
静岡市葵区大工町 5-9 TEL : 054-253-7653



### 拭漆 うつわ

けやきの木目と色気を最大限に魅せる拭漆。素地と向き合いながら何度も生漆を塗り込んでいく。重ねるごとに木目が際立ち深みを増していく器。シンプルな技法の中に、職人のこだわりと技術が詰まる。大切にできる。長く使える。決して飽きることのない道具を安藤は日々製作している。

安藤 嘉津夫 Kazuo Ando

[安藤漆工房]  
静岡県静岡市葵区田町七丁目 71 TEL : 054-253-8707







### 石目塗 グラス

今までにない素地との対峙。試行錯誤を繰り返し、鳥羽はみごと石目塗をガラスに定着させた。質感のある石目が、持ち手を安心させる。ガラスの性質をさらに理解することで出来たワイングラスは、色を正確にアクセントに用いている。和と洋。これからも対峙しながら、これからの暮らしを見つめていく。



鳥羽 俊行 Toshiyuki Toba

[鳥羽漆芸]  
静岡県静岡市駿河区大坪町1-3 TEL : 054-285-1177





#### 珊瑚塗 菓子器

朱塗のたたき模様と木地呂の中にアルミ粉を混ぜて上塗りを行い、深みのある磨き出し模様仕上げる新井の珊瑚塗。光の当たり方で色・ツヤ・模様は変わって見える。この漆は生きている。菓子器に塗り上げられた珊瑚塗は、その時折の菓子と一緒にいろいろな季節を見せてくれる。

新井 吉雄      Yoshio Arai

[あらい漆工房]  
静岡県静岡市葵区幸町 10-6   TEL : 054-253-8692





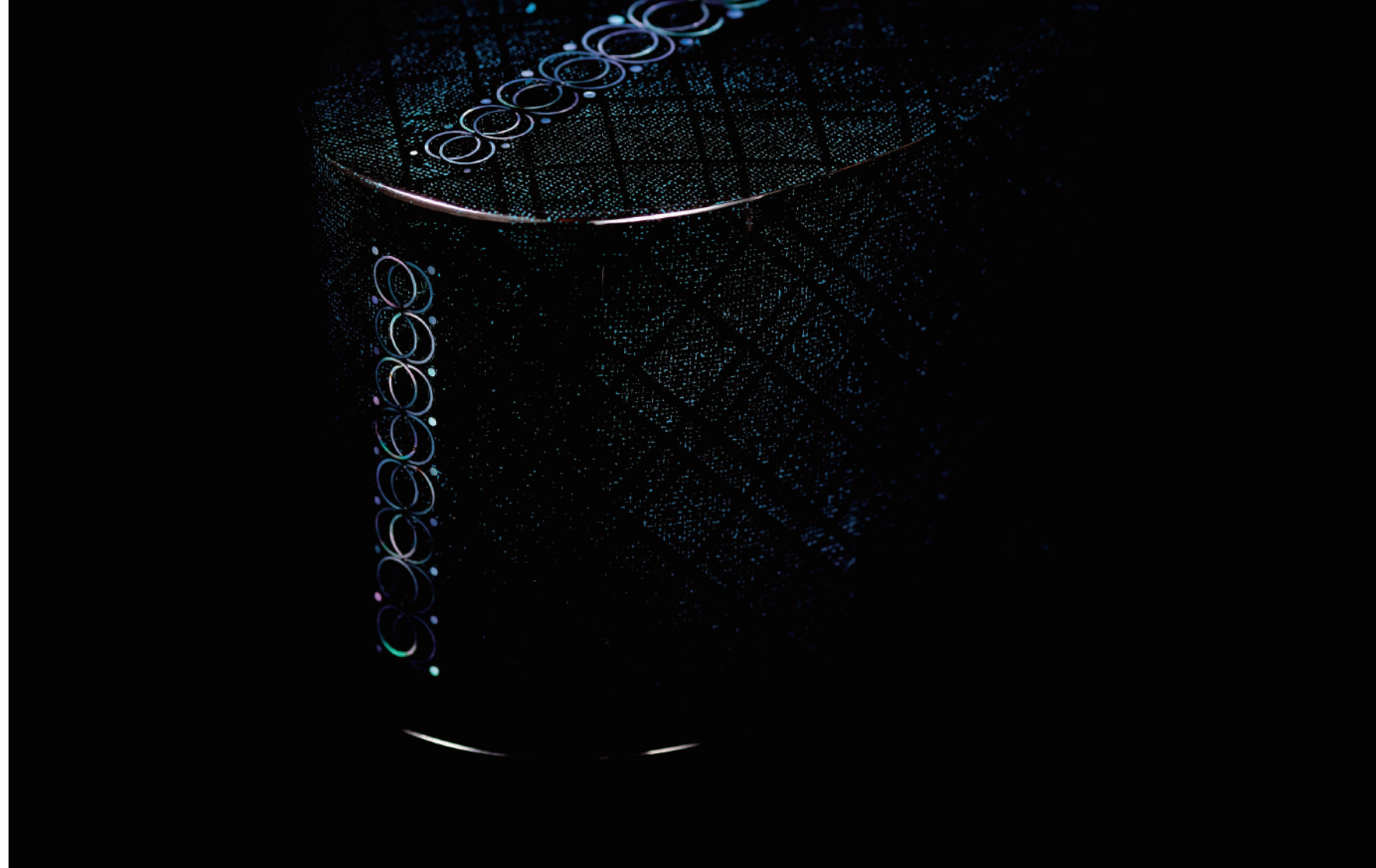
### 漆 めんば重

細かな模様と綿密な細工で重ねられ、漆黒に締められためんば重。見る角度で変わるその漆はつかみどころのない奥行を持っている。細田はこの素地となる「めんば」とその材料から面倒を見ている。丁寧なめんばと繊細な塗りが、ズレることなく幾重にも重なっていく。



細田 豊 Yutaka Hosoda

静岡県静岡市葵区田町四丁目 39 TEL : 054-253-6044





### 駿河漆塗 箸

一本、一本と塗り上げていく。細かい仕事だ。八木の漆工所には、漆で彩られた箸がならぶ。色漆を何層にも重ねたあとに研ぎ出した箸は、不規則に模様があらわれていく抽象画。同じ模様は一本もない。八木の仕上げた鮮やかな箸は、日々の食卓を表情豊かに彩る。

八木 信明 Nobuaki Yagi

[八木漆工所]  
静岡県静岡市葵区上新富町 5-13 TEL : 054-252-7609







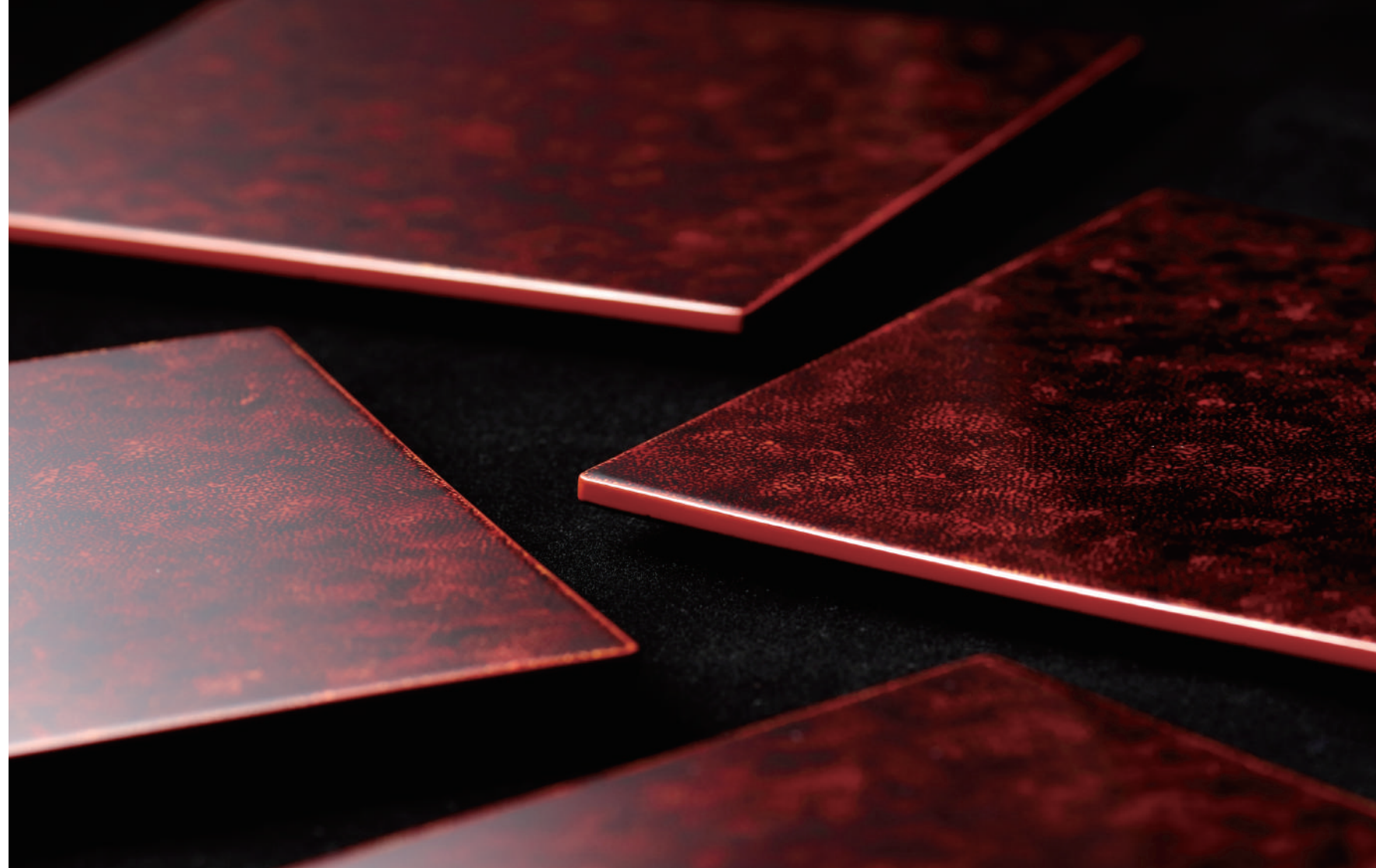
#### 変塗 銘々皿

表側は幾重にも塗り重ね研ぎ出された漆。今にも溢れ出しそうな張りつめた表面が緊張感を持つ。裏側には質感のある石目塗りの漆。そのコンビネーションはまるで静と動だ。藤中は一枚の銘々皿の中でその表裏をデザインしている。



藤中 知幸 Tomoyuki Fujinaka

静岡県静岡市駿河区曲金六丁目 8-32-202 TEL : 090-9339-8767







#### 変塗 ペンダント

研ぎ出されたその表情は美しく、石川はその漆を装飾として提案している。道具とは違う、形状の妙。新しい塗りの表現として「形」を自由に操作できるようになるとすれば、漆器の幅はこれからもさらに広がっていくのだろう。

石川 秀次郎 Hidejiro Ishikawa

[めぐみ工房・石川]  
静岡県静岡市葵区田町三丁目 63-5 TEL : 054-254-1866





#### 拭漆 めんば弁当箱

日用と漆。塩澤が目指すのはこれからの暮らしのための漆。針葉樹に塗り重ねた漆が、そのめんばを水に強い丈夫な弁当箱にする。木地のめんば製作からじっくりとはじめ、ひとつひとつの木地の性格を理解しながら漆を施し仕上げていく。



塩澤 佳英 Yoshihide Shiozawa

静岡県牧之原市勝俣 2353-39 TEL : 080-3683-0831

